



サイエンスミュージアムネット (通称 S-Net<エスネット>)

サイエンスミュージアムネット (S-Net) は、全国の博物館・大学・研究機関が所蔵する「自然史標本」(化石を含む生物標本)のデータを収集して国内外へ公開するウェブサイト※です。

S-Netでは、「どこに、どのような自然史標本があるのか」を横断的に検索することができます。各機関から提供された自然史標本情報は、S-NetやGBIFなどのウェブサイトを通じてインターネット上で公開されており、各機関が定めたライセンスに従って、誰でも利用できます。

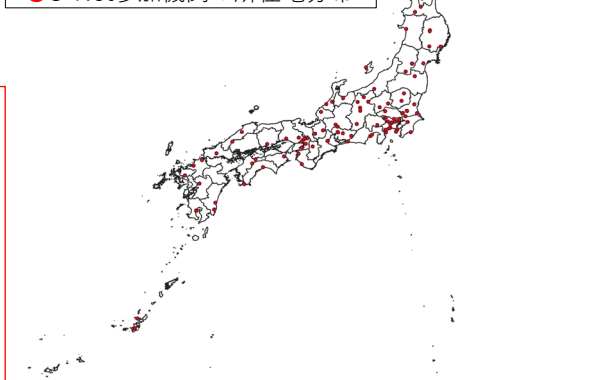
S-Net公開データ数 (2026年7月現在)
(130機関・511データセット・820万件)



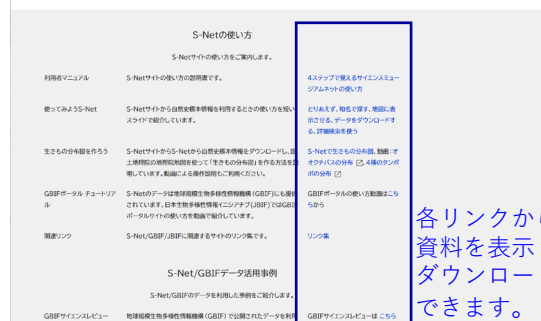
参加・参加検討中の機関の方へ

- ・S-Net/GBIFへのデータ提供
- ・S-Netシステムについて
- ・ツール・辞書
- ・データ入力のためのヒント

● S-Net参加機関の所在地分布



使い方・資料・活動実績



使い方・資料・活動実績

- ・S-Netの使い方
- ・S-Net/GBIFのデータ活用事例
- ・パンフレット等
- ・21世紀の生物多様性研究ワークショップ (GBIFワークショップ)
- ・自然史標本データ研究会 (S-Net研究会)

<https://science-net.kahaku.go.jp/>

※このほか、博物館等に所属する研究員や学芸員の情報を集めたデータベースも公開しています。また、データ公開の支援、講義や実習形式の研究会なども実施しています。